



## 国連が掲げる「持続可能な開発目標」を達成するための デザイン創造ワークショップ「Global Goals Jam」を開催！

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

九州大学大学院芸術工学研究院では、SDGsに挙げられた世界の課題を解決するための具体的な活動の一つとして、デザイン創造ワークショップ「Global Goals Jam」を開催します。3つの開発目標「持続可能な街とコミュニティ」・「健康と福祉」・「責任ある消費と生産」を達成するためのデザイン創出に挑む2日間のワークショップです。

「Global Goals Jam」は2016年より、国連開発計画とアムステルダム応用科学大学メディアラボ・アムステルダムが主催し、世界32カ国、35会場（9月1日現在）で開催されるものです。このたびのワークショップは、日本唯一の実施拠点として本研究院へ参加依頼があったもので、本取組への参加は、デザインの視点から国際的な社会課題に挑むことにより、芸術工学の意義を世界へ発信する機会になります。

### <ワークショップスケジュール>

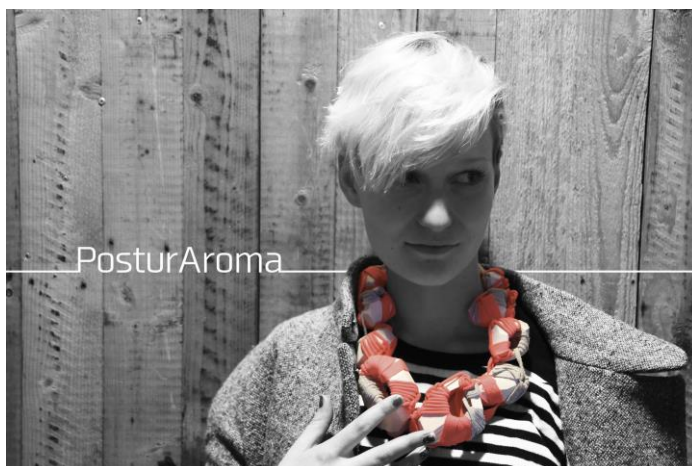
【日時】2016年9月10日（土）・11日（日）9:00～18:00

※3つの開発目標ごとにチーム（1チーム3～5人）を編成し、製品・成果物の制作を経てプレゼンテーションを実施します。

【場所】九州大学 大橋キャンパス内 工作工房（福岡市南区塩原4-9-1）

【言語】日本語および英語

### 【課題解決を目的としたデザインの事例】



女性の安全をテーマに調査をし、悪い姿勢は心理的な不安につながり、その結果女性の安全性が低下するという課題があることがわかった。姿勢が悪いことを香りで知らせ、良い姿勢を保つことで女性の安全性を高めるネックレス型ウェアラブルデバイスをデザインした。

### <関係 URL>

Global Goals Jam (<http://globalgoalsjam.org>)

国連持続可能な開発目標 (<http://www.un.org/sustainabledevelopment/>)

【お問い合わせ】芸術工学研究院 研究院長特別補佐室

テクニカルスタッフ 伊藤慎一郎

電話:092-553-9461 Mail:s.ito.334@m.kyushu-u.ac.jp